

※学年だよりで使用されている写真や作品の SNS 等への掲載はご遠慮ください。

為せば成る、為さねば成らぬ、何事も

中間考査まで残り1週間となりました。先週あたりから、朝に学年のフロアに行くと勉強する生徒の姿が増えてきました。その中の一人に「朝から頑張っているね。行きたい高校はもう決まったの?」と何気なく声をかけると、「〇〇高校に行きたいです!」と真っすぐな瞳で答えが返ってきました。心から応援したい気持ちでいっぱいになりました。

最近、生徒たちの授業や課題への取り組み方を見てみると、ある変化を感じます。それは、勉強の得意・不得意に関係なく、「自分を変えようとしているかどうか」が大きな差を生んでいるということです。そして、変わろうと努力している人の多くは、明確な目標を持っています。先ほどの生徒のように「〇〇高校に行きたい!」と志望校が定まっている人や、「5教科の評定を2つ上げたい!」「5教科の評定をオール4にしたい!」といった具体的な目標がある人は、1学期よりも格段に成長しています。目標達成までの道のりを逆算して、一つひとつ着実に前進しているからです。反対に、「成績を上げたい!」「勉強を頑張る!」という目標がぼやけている人は、なかなか変化が見られないように感じます。

ちょうど先週の道德の授業で、上杉鷹山（うえすぎようざん）の言葉について考えました。「為せば成る、為さねば成らぬ、何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」これは、「強い意志を持って努力すれば、どんなことでも実現できる。実現できないのは、自分が努力をしていないからだ。」という意味です。始める前から「できないかも…」「苦手だから…」と諦めてしまっている人に、ぴったりの言葉だと思いました。まずは、より具体的な目標を見つけて、行動に移してみてください。行動することで、新たなヒントやチャンスに出会えるはずです。さあ、可能性を秘めたエメラルドの原石たち! 自分を磨き、輝け!

大人の夏休み2

『北アルプス最深部の秘境へ』～B先生編～

薬師中に来てからずっと登りたいと思っていた「薬師岳」と、溶岩の庭園が広がる秘境の楽園と呼ばれる「雲ノ平」を登ってきました。今回、自分が通ろうとしていた登山道にクマが出没したり、宿泊しようとしていた山小屋近くのキャンプ場でテントと食べ物がクマに奪われたというニュースがあり、ドキドキの山行となりました。「秘境」とはたどり着くまでの行程が厳しいからそう呼ばれるのです。私にとっての雲ノ平は、一番若い今しか登れない山だと思いました。



『世界遺産と読書』 ～C 先生編～

マカオにある世界遺産を見たくて行ってきました。マカオは1999年に中国に返還させるまでポルトガルの影響を強く受けていたため、東洋と西洋の文化が融合した建造物が数多く残っています。世界には知れば知るほど素晴らしい場所があることを再認識しました。

南場智子さん「不格好経営」。横浜 DeNA のファンなので日本初の女性球団オーナーでもある著者の本です。「こと」の解決にチームで取り組む。面白く参考になることが多々ありました。

作文紹介



笑って泣いた3日間！

2組 生徒

あっという間だった3日間。3年生での大きな行事、「修学旅行」をどうしても成功させたい、みんなの思い出に残るものになりたいと強く思い、私は修学旅行実行委員になりました。最初は、大事な行事の実行委員になって、人前に立って話すことが苦手な私がみんなを引っ張っていけるかとても不安でした。しかし、昼休みや放課後に何度も残って、打ち合わせや準備をしているうちに、実行委員の責任感や自覚が湧いてきて、当日がより楽しみになりました。

1日目で一番印象に残っているのは、奈良公園と薬師寺の法話です。奈良公園の中には、鹿がたくさんいて、道路や木の陰などいたるところに鹿が現れて休んでいる姿を間近で見られたり、可愛い鳴き声を聞けたりしてなかなか経験することのできないことだったので、すごく思い出に残りました。薬師寺の法話をしてくれたお坊さんは、私達を最初から最後まで楽しませてくれて「顔を下に向けたら面倒なことになる。顔を上げたら面白いことがある。」と教えてくださったことが心に残っています。そして宿に着いた後は、班員がそれぞれの仕事をしおりで確認しながら、時間通りに行動することができていてとても良かったです。

2日目は班員だけの行動でした。バスの時間を見間違えたり、違う方向のバスに乗ってしまったりとうまくいかないことが多く、午前中はほとんど走っていました……。とても暑く本当に疲れたけど、振り返ってみると、それもいい思い出に感じます。しかし、慣れない京都の街で道がわからなくなったら地元の人に聞いてみることで優しく教えてくれ、午後はしっかり寺社仏閣をまわることができました。班行動では、誰か一人が勝手な行動をすると周りに迷惑をかけてしまうということを改めて感じることができました。2日目の夜は自分自身もすごく楽しみにしていたレクがありました。みんなが楽しんでもくれるように実行委員全員で力を合わせて頑張った仕事の一つです。レク中、学年全員が笑顔で参加しているのを見て、私自身も笑顔になれたし、終わった後も「楽しかったー！」という声がたくさん聞こえてきて、ここまで一生懸命頑張ってきて本当に良かったなと感じました。

3日目は半日でしたが、タクシーの運転手さんが一緒にまわってくれました。一番印象に残っているのは『二条城』です。大きくて、中には大政奉還をしたときの様子を人形で表している部屋があり、とてもリアルで昔の生活などを目で見て感じるすることができました。また、廊下は歩くとミシミシと音がしてわざと昔の鶯張りという建築様式を残していると聞き、現代まで大切に保管されていて素敵だなと思いました。

この3日間を通してみんなとの仲も深まり、予定を立て、その通りに行動することの難しさなども学ぶことができました。そして、修学旅行を通して集団行動の大切さを改めて感じることもできたので、残り少ない学校生活でも活かしていけるようにしたいです。